

夏のボランティア体験2019を振り返って

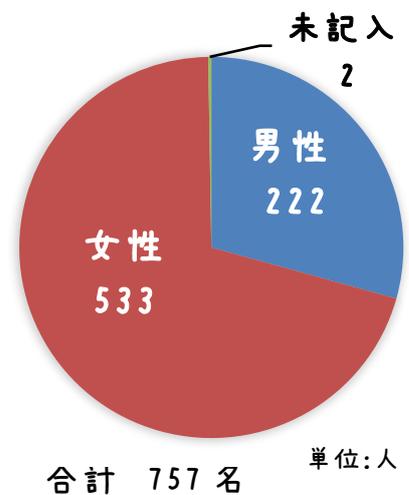
さいたま市社会福祉協議会では、市内の福祉施設や団体にご協力をいただき、毎年、7月～9月にかけて「夏のボランティア体験(夏ボラ)」を行っています。

2019年も、たくさんのボランティアさんにご参加いただき、そのアンケートがまとまりました。全体の傾向を振り返りながら、実際に「どんな活動」に参加して、「どんなことを感じる事ができた」のか、参加された方と受入していただいた施設・団体の感想とともに振り返りをします。

○参加者とアンケート回答者数○

2019年は、**873**名の参加があり、昨年と比べて**114**名増えました。

この内、男性**222**名、女性**533**名、性別未記入**2**名の合計**757**名の方からアンケート回答をいただきました。ご協力いただいたみなさま、ありがとうございます。

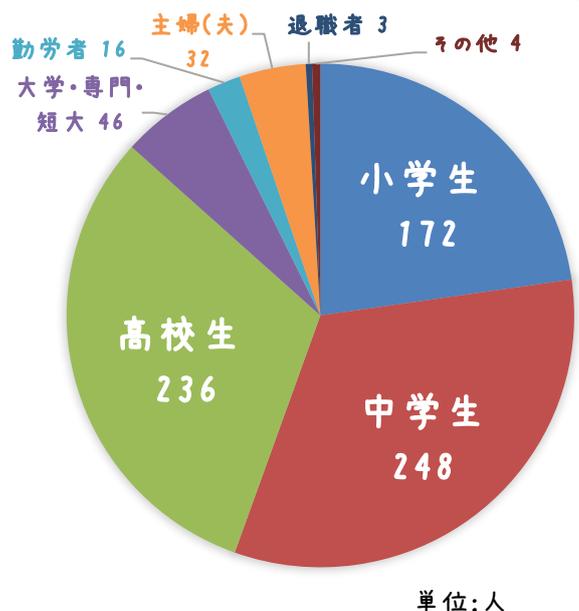


○職業別構成比○

参加者の職業は、中学生が248人と一番多く**全体の33%**を占めています。

学生のみなさんは、学校の課題での参加も多く見られましたが、一生懸命にボランティア体験をして、得るものがあつたようですね。

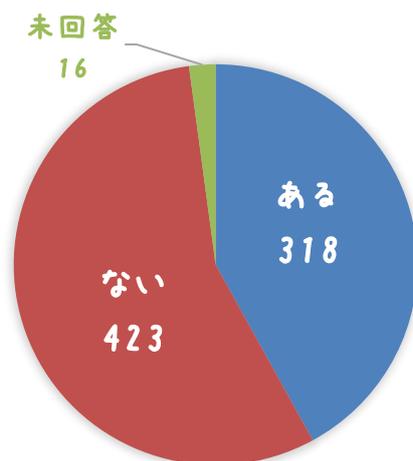
また、年齢で見えていくと、**10歳未満の方から、70歳以上の方**まで幅広く参加されており、地域の世代間交流にも繋げることができました。



○過去のボランティア経験○

約56%の参加者の方が、過去のボランティア経験が「ない」との回答でした。夏のボランティア体験は初めて体験される方が沢山いるので、多くの方と一緒にはじめやすいという特徴があります。

また、「ある」と答えた方の中には「中学1年から3年間ずっとボランティアをしていて、毎回、貴重な体験ばかりで、やり甲斐があって楽しい!」といった嬉しい言葉もありました。



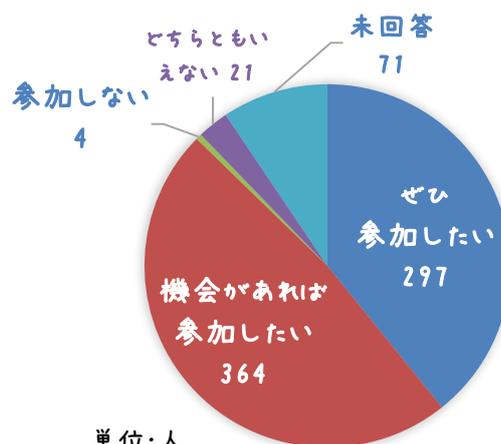
単位:人

○夏のボランティア体験に参加してみよう

多くの方から、今後のボランティア活動に「ぜひ参加したい」、「機会があれば参加したい」との回答がありました。この夏のボランティア体験をきっかけにして、他のボランティアにも参加していただける方が増えると嬉しいです!

○参加者の声○ ※【 】内は体験した種別

- ・笹を根元から刈る作業をしながら、虫や綺麗な植物を見つけられてとても楽しかったです。自然の大切さがよく分かり、自然を保護する活動にまた参加したいと思いました。【環境】
- ・職員の方が子どもたちの言葉づかいや発言に対して指導している様子を何度も見て、小さい頃の教育がとても大切なんだと気づきました。私が本を読むと真剣に聞いてくれたり、子どもたちが自分の得意なことを披露してくれたので、とても嬉しかったです。【子ども】
- ・一緒に生活している祖父が「最近、足の調子が悪い」と言っていて、今後、介護が必要になりそうなので、この体験で学んだこと、感じたことを生かしたいです。【高齢】
- ・音訳を初めて知りました。普段何気なく読んでいる漢字も読み方が多様にあたり、状況に合わせた読み方をしなければならず、意識が足りない事に気づかされました。アクセントやイントネーションも1つ1つ調べて大変だと思いましたが、聞く人に伝わり易いように読むということが練習できて良い勉強になりました。【障害】



単位:人

○受入協力施設・団体アンケート○

市内の施設や団体にご協力をいただき、84のプログラムで実施しました。施設・団体のアンケートから、多くのボランティア体験者が積極的な姿勢で望み、体験をしたことで良い変化を感じていたことがわかりました。体験前後の変化については、体験時間や日数で、違いがあったようです。

なかでも長い時間を複数日体験された方は変化が大きかったようで、「初日は人前で話したりすることが苦手だった方が、最終日には自ら積極的に意見を出し、率先して参加されていました」との声もありました。

○受入協力施設・団体の声○ ※【 】内は受入の種別

昨年参加してくれたボランティアさんが、今年も何名も来てくれました。赤ちゃんの頃、小さい頃に遊びに来ていた子が、中学生になり、ボランティアとして何人か来てくれました。【子ども】

施設に活気が出ました。利用者様がいつも以上に楽しんでいただいていたように思えました。小学生のボランティアさんは利用者様から「かわいい!かわいい!」と好評でした。【高齢】

ボランティアさんが入ることで、普段、お互いに話しをすることの少ない利用者さん同士が、お話しをしている様子が見られてとても良かったです。【障害】

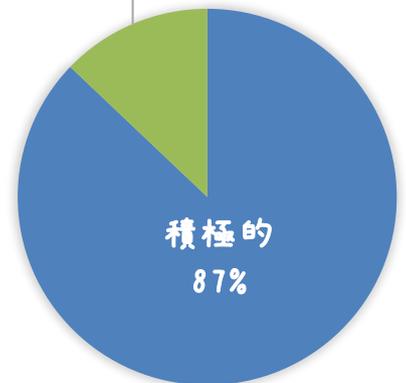
○夏のボランティア体験2020にむけて○

今回、協力をお願いした施設・団体から、「職員も初心を思い出すことができた」、「施設という閉鎖的になりがちな場所に、そして外出することがままならない利用者にとって、訪ねて来てくれるだけで、みんながパッと笑顔になれるので嬉しい」などの感想とともに、今後の受入について前向きな回答を多くいただきました。

さいたま市社会福祉協議会では、夏のボランティア体験を通して、ボランティア体験希望者と受入施設・団体がつながり、関わる多くの人に新しい気づきやよい効果があることを願っています。2020年の夏ボラもご期待ください!

体験者の 意欲・姿勢について

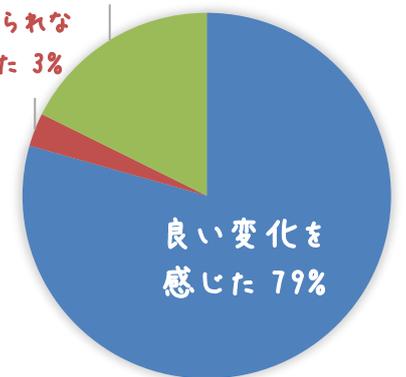
どちらともいえない 13%



体験者の 体験前後の変化

どちらともいえない 18%

感じられなかった 3%



今後の受入について

できない 0%

どちらともいえない 5%

